

昭和37年度

業 務 報 告

滋賀県繊維工業指導所

目 次

は し が き	1 頁
I 試作試験に関する事項	2
II 技術指導に関する事項	4
III その他指導業務に関する事項	8
IV 指導所に関する事項	10

は し が き

本年度における当所は指導機関としての施設や試試験器機の充実強化につとめ、これと併行して当所の指命である巡回指導の徹底をはかった。

特に伝統ある特技を基盤とした新製品を創案し、原糸メーカーや一流商社と密接な提携を保ちつつ、技術水準の向上と相俟って販路を拡充し、特産製品の振興に寄与するところが多かった。

業界は一部を除き何れも好調な市況を堅持することができたが、当所は品種別研究母体を中心として常に業界の良き指導並びに相談相手として明日の飛躍へと絶ゆまざる努力を続けている。

昭和38年

滋賀県繊維工業指導所長

小 川 藤 蔵

I 試作試験に関する事項

NO	品 名	方向	原 糸	番手	燃 数	通 巾	整経長	織上巾	織上長	組 織	備 考
1	長毛ビロード	経緯	地. スフ糸 パイル. ベスロン ベスロン	30/2S 2/30 2/30×2	300T/MZ	53 cm	G 7m P 84m	51 cm	5.5m	 板金 板金	仕上は起毛を行う。 板金高32mm 25mm 交互に打込む。
2	スフシート地	経緯	スフ糸 "	30/2 30/2		136.1cm	86m	131.5cm	74 m	平 織	
3	絹紡縮緬	経緯	テトロン絹混紡糸 テトロン絹混紡糸 生 糸	140/2 140/2 42中	980T/MS 2者混燃 2900T/MS.Z	52 cm	105m	51.4cm	86.4m	平 織	緯糸配列 1越
4	ポリノジック縮緬	経緯	タフセル タフセル	80/1 60/2	3320T/MS 2560T/MZ	41.9cm	66m	41.6cm	54.9m	平 織	緯糸配列 2越
5	服 地	経緯	パイレンス混紡糸 パイレンス混紡糸	24/2 36/2	① 500T/M ② 1200T/M ① 400T/M ② 1100T/M	102.9cm	50m	98 cm	43 m	平 織	糸配列 ① 16本 ② 16本 黒色先染 糸配列 ① 14本 ② 14本 黒 カーキ先染し混燃す
6	模紗縮緬	経緯	生 糸 生 糸	21中/2×2 21中/3 21中1本	下燃3000T/MS 上燃1500T/MZ 下燃4100T/MS.Z 上燃900T/M2.S	45.6cm	82m	44.5cm	73 m	紋織地模紗 紋5/1綾	緯糸配列 2越 900ロジャガード機使用
7-1	ウール縮緬	経緯	梳毛糸 梳毛糸 生 糸	2/72S 2/80 21中	壁燃 下燃660T/MS 上燃650T/MZ	40.0cm				平 織	下燃は梳毛糸だけとし生糸を添えて上燃を 施す。
7-2	"	経緯	梳毛糸 生 糸	2/80 21中/8	梳毛糸1200T/MS 1800T/MZ 生糸3200T/MS.Z	42.9cm	65m	38.8cm 42.5cm	12.3m 41.8m	平 織	経糸 7-1に同じ 糸配列 ①梳毛糸S ②生糸S ③梳毛糸2 ④生糸2
8-1	ビニロンクレープ	経緯	ビニロンフィラメント ビニロンフィラメント 生 糸	55D//2 55D//2 21中1本	壁燃 下燃1200T/MS 上燃800T/MZ	104 cm	24m	102 cm 103 cm	13 m 6.5m	平 織 平 織	緯配列 2越
8-2		経緯	生 糸	21中/5	3000T/MS.Z						
9	夏座布団地	経緯	タフセル タフセル	60/1 60/1	700T/MZ	71.5cm	20m	68.5cm	—	平 織	織機上にて経糸捺染を施す。製織中
10	ポリノジック クレープ地	経緯	タフセル タフセル	40/1 40/1	800T/MZ	105.3cm	57m	101m	53.6m	平 織	

II 技術指導に関する事項

1 実地指導

月別 項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
織物及び 製織について	61	70	48	50	42	63	41	33	28	14	36	34	520
製織準備 について	16	19	16	14	8	10	10	10	13	7	13	8	144
精練漂白及 染色について	4	6	5	3	6	9	5	9	10	11	28	6	102
整理仕上 加工について	3	6	4	4	4	7	2	7	11	11	12	4	75
意匠図案 について	1	1	4	2	1	7	1	1	2	0	4	2	26
その他	4	15	17	13	5	8	4	4	0	5	10	2	87
計	89	117	94	86	66	104	63	64	64	48	103	56	954

2 質疑応答

月別 項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
織物及び 製織について	31	52	34	35	25	37	35	23	23	34	25	29	383
製織準備 について	17	26	33	29	19	11	27	28	20	15	28	16	269
精練漂白及び 染色について	14	13	16	15	24	17	23	13	7	21	21	11	195
整理仕上 加工について	5	6	5	9	19	9	6	9	16	5	10	5	104
意匠図案 について	10	4	4	14	14	7	2	5	6	1	5	7	79
試験及品質 管理について	40	52	74	57	68	79	77	65	60	34	62	52	720
その他	29	22	15	23	19	19	28	30	22	9	25	20	261
計	146	175	181	182	188	179	198	173	154	119	176	140	2,011

3 依頼試験

月別 項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
番 手	65	19	31	29	42	32	57	45	20	9	17	3	369
燃 度	39	80	122	49	93	77	47	99	75	31	55	49	816
糸 強 伸 度	73	56	104	120	88	135	106	111	79	51	90	54	1,067
糸 抱 合 力	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	6
糸 長 測 定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	5
布 強 伸 度	135	91	120	67	61	156	112	144	174	127	122	99	1,408
布 摩 擦	0	0	2	0	0	5	0	0	0	0	0	4	11
圧 縮 弾 性	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
織 物 分 解	85	80	77	78	110	119	64	74	47	16	3	7	760
織 物 設 計	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
物 質 鑑 定	3	3	3	9	19	2	2	23	10	0	6	0	80
水 分 率	48	39	41	50	67	111	59	43	41	41	72	37	649
防 し わ 度	0	2	1	0	6	8	6	4	5	0	3	3	38
精練漂白染色 仕上	1	3	5	8	3	4	8	4	8	0	1	6	51
染色堅牢度	3	8	3	2	5	2	0	7	5	5	7	7	54
図 案 調 整	7	12	10	20	2	12	11	1	3	0	6	2	86
定 性 分 析	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	5
定 量 分 析	1	3	1	1	0	0	2	1	1	2	0	4	16
纖維混用率	10	0	5	2	1	6	0	5	3	1	3	1	37
工業用水分析	1	0	0	1	1	0	0	1	2	6	2	4	18
計	473	396	526	437	498	671	474	565	476	294	387	281	5,478

4 技術指導の概要

1. 変りちりめんに関する指導

品質の高度化並びに、新製品の研究に没頭した。特に化繊ちりめんの研究に専念し、大手一流メーカーとタイアップして新製品の案否を図り市場性の打診を行い、本格的生産に乗り出すべく指導を行った。

2. バイル織物に関する指導

自由化により外国製品特に服地、ピロードの輸入によって戦前流行を遂げた シフホンベルベットのリバイバルブームを見込み新たな計画に基づき、新製品を案出し、ピロード業界の再興を図って来た。特にヘアーパットの完成によって婦人装身具の面にも進出するべく指導を行った。

3. 変化蚊帳に関する指導

工場の品質管理を徹底せしめると共に化繊蚊帳の研究に没頭し試作品完了し商況打診を行い指導を行った。尚旧来の麻蚊帳一辺倒から脱皮して時代の要請に即応する斬新味のある蚊帳を生産するべし染色法の研究を行い指導を行った。

4. 夜具座布団地に関する指導

原糸並びに柄、デザインの研究により新しいアイデアの新製品を案出し、商況打診を行いつつ旧来の麻一辺倒から年間需要に対処出来る製品の研究指導を行った。

5. 小巾織物に関する指導

大メーカーとタイアップして時代の要求にマッチした着尺地の生産、即ち盛夏向一辺倒から年間需要の着尺地によって業界振興を図るべく指導した。

6. 芯地の新用途開拓並びに転換に関する指導

業界の品種転換希望者、35社設備台数375台を順次化繊クレープ、並びに変り織りシーツの生産へと移行せしめつつあり、近くはシーツ界の特産化を図るべく指導を行って来た。

7. 高島織物に関する指導

品質の高度化を図るべく、総ゆる思策を促進し、晒製面から柄物色物へのクレープ生産を指導した。尚一部化繊クレープ生産化への指導を行った。

8. 輸外向強燃米織物の製織と、加工技術の指導

昭和37年度中小企業技術指導費補助金により試験機器の設置を完了し、指導体制の強化を図った。然して捺染クレープ、変り織りクレープ、先染後染クレープ、樹脂加工、デザイン等輸外向織物に必要な研究を順次完遂し、業界振興を図るべく指導体制を整備した。

9. 品種別研究会

品種別に研究母体を結成せしめ、大メーカーとタイアップし、コマーシャルベースに乗せるべき試験研究製品の完遂によって着々としてその効果をあげつつあり、当所が本年度指導した新製品は次の通りである。

* タフセルクレープ * エクスランクレープ * エクスラン蜂巢シーツ * エクスラン変り織りシーツ * 綿蜂巢シーツ * ヘアーパットピロード 変り織りシフホンベルベツト * 化繊ちりめん * 化繊着尺(ピロードコートを含む) * 化繊布団地

* 化繊柄蚊帳 * 化繊レース * 化繊シャツ地 以上13品種、指導対象 99社
指導台数 1118台

Ⅲ その他指導業務に関する事項

1. 職員の研修

業界を指導育成する為には職員全般に高度の科学技術を習得せしめ、指導能力の強化を図らねばならない事は言を俟たない。

当所は職員を各産地の特産技術を習得せしめるため派遣すると共に繊維工業に関する理論を研修せしめる為大学、繊維工業試験所へ短期間派遣した。

2. 開放工場の設備利用

機械名	件数	延日数
管巻機	1	1
糊付機	4	14
撚糸機	13	31
整経機	3	6
力織機	3	76
計	24件	128日

3. 研修生及び実習生の養成

3.7.7.11～31	県立短大生1名	紡織試験法
3.7.8.10～11	長浜市中学生110名	織物一般
3.7.12.10	長浜商工高校生15名	織物試験法
3.7.12.13～14	県立短大生10名	"
3.8.1.11.18.2.12.3.	長浜商工高校生各15名	"
3.8.3.12～13	県立短大生9名	"
3.8.3.14～29	県立短大生1名	機織準備法

4. 研究会及展示会

月日	場所	来所者	内容
4. 17	能登川	6名	小巾織物研究会
4. 18	本所	17名	蚊帳研究会
4. 20	能登川	12名	芯地研究会
6. 6.	本所	4名	糊付研究会
6. 8.	"	5名	芯地研究会

6. 18	本所	30名	縮緬研究会
8. 20	能登川	25名	図案展示会
8. 23	本所	10名	ビロード研究会
8. 28	"	12名	芯地研究会
9. 6	能登川	9名	芯地研究会
9. 25	高島	20名	高島織物研究会
10. 20	本所	20名	化機クラブ研究会
11. 21～22	"	200名	繊維機器実演会
12. 20	"	30名	縮緬研究会
3. 11	"	35名	"
3. 19	"	40名	近代機器講習会
3. 26	能登川	15名	図案研究会

5. 出版・刊行物

業務報告(昭和36年度) 120部 1962. 6

N 指導所に関する事項

1. 沿革

明治44年 4月	滋賀県立長浜、能登川工業試験場をそれぞれ設立。
大正4年 4月	長浜、能登川両場を合併し、滋賀県工業試験場とし、能登川に本場を置き長浜を分場とする。
大正8年 4月	滋賀県能登川、長浜工業試験場の2場に分割。
昭和11年 4月	能登川工業試験場高島分場を設置。
昭和16年 4月	能登川工業試験場を滋賀県染織共同加工指導所と改称、高島分場廃止。
昭和18年10月	長浜工業試験場を滋賀県工業試験場と改称、染織共同加工指導所内に併設。
昭和19年 3月	染織共同加工指導所を廃止。
昭和21年 5月	滋賀県立長浜、能登川両工業試験場をそれぞれ設置。
昭和27年 4月	能登川工業試験場と長浜工業試験場を合併し、滋賀県立繊維工業試験場を設置。
昭和30年 9月	滋賀県立能登川、長浜繊維工業試験場の2場とする。
昭和32年 4月	長浜、能登川両繊維工業試験場を廃止。滋賀県繊維工業指導所を設置し、長浜に本所を、能登川と高島にそれぞれ支所を置く。

2. 組織

所 長	庶務係	——係長1 主事補2 用務員1
	指導係	——係長1 技師3 技師補2 指導員3 汽かん士1
	能登川支所	——主任1 技師3
	高島支所	——主任1 技師2 主事補1

3. 敷地・建物

本 所	敷 地	5.654.00m ²	
	建 物	1.064.00m ²	
	物理試験室	72m ²	図 書 室 18m ²
	恒温恒湿室	36m ²	開 放 工 場 324m ²
	化学試験室	54m ²	汽 かん 室 20m ²

染色試験室	72m ²	そ の 他	468m ²
能登川支所建物(借用)	79.34m ²		
事 務 室	37.95m ²		
そ の 他	41.39m ²		
高島支所 土 地	157.29m ²		
建 物	60.75m ²		
事 務 室	19.35m ²		
恒温恒湿室	21.15m ²		
そ の 他	20.25m ²		

4. 主要設備機械

布抗張力試験機	2	耐水度試験機	1
糸強伸度試験機	3	化 学 天 秤	4
織 度 計	5	テンションメーター	5
検 燃 機	4	アムスラー型布摩擦試験機	1
フエードテスター	1	バイルレカバリングテスター	1
リーテスター	1	デユボックス比色計	1
検 類 器	1	振 切 脱 水 器	1
直 示 天 秤	1	静電気測定器	1
ストロボスコープ	3	マ ネ ー 式 試 染 機	1
写 真 引 伸 機	1	振 盪 機	1
オシロスコープ	1	迅 速 水 分 計	1
電 気 湯 煎 器	1	トーションバランス	1
熱 風 乾 燥 機	1	ト ル ク 計	1
顕微鏡写真装置一式	1	検 尺 機	4
イオン交換純水装置	1	カスタム摩耗試験機	1
紫外線物質鑑識器	1	圧縮弾性試験機	1
定 温 乾 燥 機	2	染 色 摩 擦 試 験 機	1
織物厚さ測定機	2	小 型 布 染 機	1
ラウンダーテスター	1	ス ト マ ー 粘 度 計	1
糸抱合力試験器	1	堅型水管式ボイラー	1

小型マングル	1	力 織 機	10
表面温度計	1	(絹、綿、ビロード、タオル、自動)	
防しわ試験機	1	準 備 機 (擦糸機、管巻機、繰返機、 整理機、その他)	1 式
蒸気発生機	1	経メリヤス機	1
ジェット乾燥機	1	試 染 用 胴 釜	2
分析装置一式	1	経 糸 擦 染 機	1
噴射式染色機	1	木 製 精 練 槽	3
水素イオン測定器	1	顕 微 鏡	5
カ メ ラ	1	超 音 波 発 振 機	1

昭和37年度新設試験機器

名 称	台数	型式等
糸摩擦抱合力試験機	1	織工試式
光電分光光度計	1	QR-50型
通気度試験機	1	定圧式
万能抗張力試験機	1	IM-100型 秤量2~100 kg
繰 返 機	1	
柔軟度試験機	1	ガーレ、電動式
真空糸蒸装置	1	ニッカム式 万能SB型
浄 水 装 置	1	オルガノ式 TSA-I型
擦 染 機	1	ロール巾12吋 手動式
自 動 管 巻 機	1	最大回転数 12,000回
張力記録装置	1	携帯用DS-I型 1チャンネル
高温熱処理機	1	TKS-31型
高温高压染色試験機	1	LUP標準型 0.5kg
エンボシング機	1	働巾 18吋
漂白試験機	1	亜塩素酸ソーダ漂白装置
試験用糊付機	1	
湿式輪具擦糸機	1	今村式 40錠
保温性試験機	1	織工試型
収縮度試験機	1	〃
スクリーン染色機	1	働巾 400%

自動織機	1	北 校 JS 型
繰 返 機	1	20窓
引 揃 機	1	10窓

5. 昭和37年度歳入歳出決算

歳 入

科 目			決 算 額
項	目	節	
使 用 料	産業経済使用料	繊維工業指導所設備使用料	12,350円
手 数 料	産業経済手数料	繊維工業指導所試験	318,810
	(款) 使用料及手数料		331,160
物 品 売 払 代	不用品売払代	繊維工業指導所収入	61,148
	(款) 雑 収 入		61,148

歳 出

科 目			決 算 額
項	目	節	
繊維工業指導所費			24,287,231円
	職 員 費		10,546,525
		吏 員 給	5,292,300
		給 料	1,878,000
		職 員 手 当	3,376,225
	所 費		1,960,756
		旅 費	146,945
		賃 金	5,800
		消 耗 品 費	97,797
		燃 料 費	166,112

		食糧費	9,123.5円
		印刷製本費	64.692
		光熱水費	257.878
		通信運搬費	133.842
		手数料	6.350
		借料及損料	600
		修繕料	387.675
		備品費	591.830
		負担金補助及交付金	10,000
	試験指導費		11,779.950
		旅費	377.971
		報償費	11,000
		消耗品費	334.036
		燃料費	138.882
		食糧費	6.780
		光熱水費	74.054
		通信運搬費	67.258
		手数料	114.169
		借料及損料	3,000
		委託料	19,960
		修繕料	225.240
		工事請負費	247,000
		備品費	320.600
		施設費	9,840,000
工業観光費	繊維工業振興費	旅費	4,950
	(款)産業経済費		24,292.181
県職員費	職員費	職員手当	24,927

管 繕 費	維持修繕料		855,300円
		工事請負費	750,000
		修繕料	75,300
	(款)県庁費		850,227

6. 事業の執行

1) 開放工場の天井張及び照明工事

開放工場の床張り、単独運転々換工事を前年度完了し本年度天井張及、照明工事を行うことにより、温調管理を便ならしめると共に照度の不変地を図った。

工事 37.6.25～7.15完了

2) 排水側溝の整備

7. 職 員

所 長	技術吏員 兼事務吏員	小 川 藤 蔵
庶務係長	事務吏員	国 門 与 作
指導係長	技術吏員	今 井 信 次 郎
能登川支所主任	技術吏員 兼事務吏員	中 村 貞 一
高島支所主任	"	野々下増三
庶務係	主事補	鹿 山 健 三
"	"	福 永 悦 子
"	用務員	斉 藤 重 雄
指導係	技術吏員	尾 本 豊 次
"	"	小 林 昌 幸
"	"	川 口 浩
"	技師補	川 添 茂
"	"	木 村 忠 義
"	指導員	川 島 良 子

指 導 係	指 導 員	吉 田 周 蔵
"	"	西 山 と み 子
"	汽 かん 士	中 川 一 郎
能 登 川 支 所	技 術 吏 員	坪 井 明
"	"	勝 木 嗣 治
"	"	内 藤 静
高 島 支 所	"	堀 井 利 男
"	"	前 川 春 次
"	主 事 補	中 村 務

昭 和 3 6 年 度

業 務 報 告

滋 賀 県 織 維 工 業 指 導 所